
深淵のリリン

月の樹

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

深淵のリリン

【Nコード】

N2190M

【作者名】

月の樹

【あらすじ】

元の世界で侯爵である両親と令嬢であるリリンは裕福に過ごしていた。が、ある日突如賊が屋敷に入り込み、両親は殺されてしまう。リリンも殺されたはずだが目を覚ますと元いた世界とはまったく違った異世界。そして異世界では戦争が起こっていた。リリンはどうやって戦争から生き延びていくのか。

プロローグ

「ハアハア・・・ハアハア・・・」

走る。

「どうしてこんな目に遭わないといけないの!？」

淡い青色のプリンセスラインのドレスは所々破け、

「さっきまで屋敷で父様や母様と一緒に食事をしてただけなのに！」

綺麗に結い上げられたプラチナブロンドの髪は振り乱しながら

「それだけなのに、どうして?父様あ、母様あ、助けて・・・!」

泣きながら少女は両親に助けを請う。しかし、自分を逃がす為には敷に残った両親はここにはいない。返事は返ってくるはずがなく、走り続けた少女はもう体力が尽き、その場に座り込んでしまう。

「もう追いかけてこは終わりがい、譲ちゃん」

太く低い声が少女の後ろから語りかける。少女が振りかえると三人の男が剣を携え、立っていた。

「そん、な・・・父様、母様は・・・」

男達を見て少女に絶望が襲う。

「シャルレット侯爵とその夫人か。侯爵は中々の剣術の腕だった。内の若い者が二人斬られたよ。だが、二人共先に逝ってもらった」

中央にいた男が語る。男が持つ剣の刃は赤く濡れていた。

「フフ・・・アハ・・・アハ・・・アハハハッアハハハッ！」

少女は突如笑いだしたかと思うと、空を見上げ止まった。

「精神が壊れたか」

中央の男が淡々とした声で呟いた。

「頭、この女殺すにはもつたないぜ」

「ああ、こんな上玉だ。精神が壊れてようが、いくらでも買い手はあるな」

中央の男の後ろにいた二人の男が言う。

「いや、殺す。それがパトロン《依頼者》からの依頼だ」

頭と呼ばれた男は首を横に振って、空を見続ける少女に歩み寄る。

少女の前に来ると剣を上に掲げ、小さな声で呟く。

「力がある者だけが勝ち残る。それが暴力だとしても」

そして剣が振り下ろされた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2190m/>

深淵のリリン

2010年10月28日02時58分発行